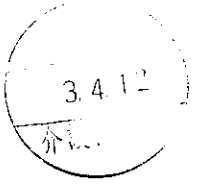


タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できてい る	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
<b>II 評価項目(Structure) 施設別評価</b>									
<b>(1) 理念の明確化</b>									
①	サービスの特徴を踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				法人の理念は「その人らしく 気持ちよく生きる」、事業所の理念は「いつでもつながる安心」を提供し、その人らしい暮らしをささえます。理念は明確に掲げている。	緊急コール端末を設置していることで利用者はいつでも連絡できる、24時間繋がっているという安心感がある。
<b>(2) 適切な人材の育成</b>									
①	専門技術の向上のための取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				日常業務遂行の過程において、職員間の理念等の認識は共通のものになっている。	自己評価の内容を確認した
		3	運営者は、専門技術(アセスメント随時対応時のオペレーターの判断能力など)の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○			OJT計画、月に1回必ずヘルパー会議を行い、知識や技術の標準化を図っている。 法人内外の研修への参加の機会の確保、各職員の自己啓発への助言、を行っている。	自己評価の内容を確認した	
		4	管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			職員の能力を判断して配置し、非常勤の訪問介護員においては正確なサービス提供をするため計画作成責任者が指導等を行っている。必要に応じて個別指導も行っている。	自己評価の内容を確認した
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている		○			法人内の看護職とは週1回合同でカンファレンスにて情報共有を行っている。法人外の看護職とは、電話・FAX・電子媒体を通して情報共有を行っている。	法人内：毎週のカンファレンスや介護記録の閲覧にて密な連携がとれている。 法人外：電話での連携が多いが、細かい情報の共有ができ助かっている。
<b>(3) 適切な組織体制の構築</b>									
①	管理マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置(業務・シフトの工夫)を行っている		○			ICTを活用しサービス手順や利用者の状態の情報共有を行うことで複数のヘルパーが利用者宅へ訪問しても統一した考え方のサービスが出来るように取り組んでいる。	利用者の個性に応じて、サービスを利用できていると感じた。
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等(サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等)を、サービスの提供時に適切に反映させている		○			コロナ禍ではあったが適時開催できた。 介護・医療連携推進会議で頂いた助言等により、認知症の利用者や老々世帯の利用者等が穏やかに安心して生活できるよう、ゆっくりと利用者の声に耳を傾けて精神的に落ち着けるような支援に努めている。	自己評価の内容を確認した



タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備</b>									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				PCの介護ソフトを使用して家族や利用者に関連する事業所等と情報共有できるしくみがあり(URLの配布)、それを活用している。	定期巡回を利用し、ICTを活用することで、家族様の安心感につながると感じた。
<b>(5) 安全管理の徹底</b>									
①	職員の安全管理	9	サービスの提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等ため、事業所においてその具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策災害時対応等)		○			事業所建物外側には防犯カメラを設置。法人内事業所の全車両にはドライブレコーダーを設置している。職員が急減速した時等は即時管理者PCで確認ができる。台風等は訪問時間を考慮し、可能な範囲で利用者宅へ訪問している。地震等の災害時にはフローチャートを作成中。	自己評価の内容を確認した
②	利用者等の個人情報保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられていると共に、管理者や職員において共有されている	○				必要以上にPCを起動させない。職員が事業所を不在にする時等は、随時書庫を施錠している。	自己評価の内容を確認した
<b>(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成</b>									
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている		○			独自のアセスメントシートを作成して取り組んでいる。	自己評価の内容を確認した
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている		○			法人内は、介護・看護ともにICTを活用し、アセスメントを共有している。法人外は、アセスメントシートを郵送で送って頂き、確認している。	自己評価の内容を確認した
②	利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				担当者会議等で話し合われた内容に沿い、利用者の心身機能の維持回復をめざす居宅サービス計画に基づいて個別援助計画を作成している。	自己評価の内容を確認した
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			訪問看護との連携を重視し、現場からは日々の様子の報告をもらいながら多職種でカンファレンスを行い、問題解決や提案、評価を行っている。	体調不良時や身体状況の変化に応じて柔軟な対応がなされていると思う。定期巡回を利用することで、異常の早期発見につながるのではないかと。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し</b>									
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			利用者の状況に応じて、サービス提供回数・時間・サービス内容を変更している。 ご本人と家族様の想いが違う場合にご本人の希望を尊重することで家族様にとっては不安感を与えてしまったかもしれない。	本人の意向もくみ取ったうえで、訪問時間・回数を見直し出来ているように思う。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				毎月モニタリングを行い、状況の変化に応じて、関係事業所へ適宜報告を行っている。	自己評価の内容を確認した
<b>(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供</b>									
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				看護職に利用者の状態変化や服薬に関すること等、報告・相談を行い、医療の視点からの指導や助言のもと対応している。医療面は看護職、日常生活は介護が対応し役割分担を行っている。	月に1回、合同カンファレンスを開催することで、訪看とヘルパーがより密に連携がとれるようになったと感じている。
②	看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				利用者を観察するポイント、介護職の訪問回数やサービス内容に関する助言等を受けている。	在宅での生活を安楽に支えられるよう連携して介入していきたい。
<b>(4) 利用者等との情報及び意識の共有</b>									
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				サービス開始前に事業所のパンフレット等を用いて説明している。 契約時に重要事項説明書を基にサービスの趣旨や内容の説明をしている。	認知症の症状があり、服薬拒否がみられる方に対して、定期巡回を提案行っても、拒否があり、どう提案すればよいか？
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				居宅サービス計画に基づいた個別援助計画を作成し、書面を提示してその内容説明を行い、同意の署名を頂いている。	自己評価の内容を確認した
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				状況の変化をケアマネジャーや事前に確認した利用者のキーパーソンに適時報告を行い、状況に合わせたサービスの提案をしている。	関係各所との報告・相談がしっかりできていると思う。
<b>(1) 共同ケアマネジメントの実践</b>									
①	利用者等の状況	22	ケアマネジャーとの間で、利用者						

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
	の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案		へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている		○			随時、利用者の情報共有をしながら、ケアの変更があった場合には、サービス提供日時等の報告・相談を行っている。	利用者の状態を密に報告を下さっているのを助かっている。
		23	計画の目標のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案(地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む)が行われている		○			自費サービスの提案等、利用者にとって必要だと思われるサービス等は関係事業所に情報提供を行っている。	自己評価の内容を確認した
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				適宜開催される担当者会議若しくは訪問看護やケアマネジャーへの状況報告にて、情報提供を行っている。	自己評価の内容を確認した
(2)多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
①	利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(※任意評価項目)		○			利用者の状態の変化に合わせて随時、担当者会議が開催され検討する機会が設けられている。	認知症初期集中支援事業や生活支援検討会議という行政のシステムもあるため、活用しながら利用者を支えていく手段もある。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			退院・退所時には必ず退院前カンファレンスに参加し、情報共有やサービス内容の検討をしている。	本人の生活リズムを考慮したサービスが定期巡回で実施できていると思う。
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)		○			専門職が適時適切に関わり状態の変化を共有し連携出来るように努めている。	残薬が増えてきている利用者に関して、アセスメントをとり、医師へ報告。食事回数に合った処方へ変更となり、残薬がなくなった事例があった。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
<b>(1) 地域への積極的な情報発信及び提案</b>									
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、行われている		○			介護・医療連携推進会議の参加者には会議報告書の手交を行っている。事業所内は報告書を閲覧するよう取り組みたい。	自己評価の内容を確認した
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている		○			定期巡回サービスに関する情報誌を作成・配布したり、医療機関（地域連携室）や居宅介護支援事業所に訪問し広報することで周知できてきた。	定期巡回サービスを提案したい方はいるが、認知症などで拒否のある方に対してどのように提案を行えばよいかわからない。
<b>(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画</b>									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している		○			法人より、定期巡回サービスが地域包括ケアシステムの中核を担うサービスのひとつであることは常時発信されている。職員については、ヘルパー会議を通し学習している。	自己評価の内容を確認した
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				地域に展開しているため、特定の建物に限定したサービス提供は行っていない。	各拠点・各地域に定期巡回サービスがあれば今後もっと早い対応ができるのではないかと。
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）		○			地域の社会資源（インフォーマルサービス等）の情報を収集し、必要に応じて提案できるように取り組んでいる	定期巡回のサービスに薬剤師などの専門的な意見がもらえるのは心強い。麻薬などの効果の強い薬については、複数の専門家の目があると更に安心できる。
<b>III 結果評価(Outcome)</b>									
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている		○			目標達成後、新たな課題を目標に継続されている事例もあるが、利用者（家族）の事情により在宅生活の継続が困難になり、計画期間途中で入院・入所に至る利用者もいる。	自己評価の内容を確認した
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				「在宅で最期を迎えられる方は、夜間の訪問が利用者にとって安心。」 「なにかあればすぐに来てくれる、安心だ。」 「県外在住の家族様から、「介護記録を離れた所で確認できることで安心する。」等の声を頂いている。	本人、家族の要望に沿って対応されていると思うので、安心感が得られていると思う。